

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	富澤 秀和
	施策No.	3	施策名	移動しやすい観光地	政策の 目指す姿	観光客がスムーズに移動しています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設等の改修や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置が求められています。 市内の観光施設を巡る周遊バスは、広範囲に及ぶ観光資源を周遊するためのコース設定が求められています。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性)

・主要観光施設を巡る周遊バスのルートは、市観光客動態調査の傾向をもとに、上期・下期の見直しにより設定する。

(反映状況)

・午前、午後とも「あったかいなはん号」としていたものを、午前「どんぐり号」、午後「やまねこ号」と利用者にわかりやすく名称を改めるとともに、観光客ニーズを反映し、午前・午後コースとも「宮沢賢治記念館」を設定した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 観光案内表示の充実

○ 観光客にわかりやすい観光案内看板の新設、修繕、撤去
 ・構造上危険な観光案内看板の撤去、必要箇所への新設、明瞭な表示への修繕

(2) 観光施設間の移動手段の確保

○ 駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援
 ・花巻・台温泉方面、花巻南温泉峡方面の2系統の送迎バスの運行支援

○ 利用者ニーズを反映した効率的な観光ルートの整備
 ・市内観光施設を周遊する「どんぐり」号、「やまねこ」号の運行支援

○ 貸切バスツアーの運行支援

・国内外からの旅行のうち、市内に宿泊する貸切バスを利用する場合(国内旅行の場合は県外からの貸切バスを利用する場合)の運行を支援した。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートに「案内板表示に満足できたか」という設問を追加して調査する。	%	目標値	-	-	-	90.0	90.0	90.0
				実績値	-	-	-	87.0		
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値	5.3	5.4	5.5	5.8	5.9	5.9
				実績値	5.9	5.8	5.4	5.5		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■ 成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度b】 観光客が迷うことなく目的地に到着するよう誘導することが目的である一方で、構造上危険な観光案内看板の撤去、修繕を優先せざるを得なかったこともあり、目標値を下回る結果となった。</p> <p>■ 成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度b】 観光客にとって二次交通は重要であり、旅行商談会等において観光資源とともに宣伝しているものの、利用者数は目標値に届かなかった。前年に比して、花巻温泉郷への観光客入込数宿泊者数は減少したものの、花巻温泉郷宿泊施設送迎バスの利用者は微増している状況と需要はあることから、環状バスの認知度が低いことが原因と考える。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	観光案内板整備事業 観光案内板の撤去、新設(更新)、修繕 (構造上危険物件撤去 6基、更新 6基、修繕 1基 計13基 4,968千円)	観光課	一致	直結	B
				A	
2-1	観光ルート整備事業 花巻温泉郷共同送迎バス運行支援 (花巻・台温泉系、花巻南温泉峡系の2系統 利用者数 52,650人)	観光課	一致	直結	B
				A	
2-2	観光ルート整備事業 市内観光施設周遊「どんぐり」号・「やまねこ」号運行支援 (運行日数 296日、利用者数 2,193人)	観光課	一致	直結	B
				A	
2-3	観光ルート整備事業 団体旅行貸切バスツアー運行支援 (支援台数 382台、利用者数 12,000人)	観光課	一致	直結	B
				A	

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・観光資源とともに二次交通について情報発信する必要がある。 ・増加する外国人観光客への対応も考慮する必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・観光客にとって二次交通は重要かつ必要であるが、観光資源に比べ二次交通について情報が少なく、表記やアナウンスなど外国人観光客への対応が遅れている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・観光協会をはじめ関連事業者とともに観光資源同様、二次交通の情報発信についても徹底し、運行主体への働きかけを行うとともに支援についても検討する。</p>
--